



桐花

大槌町立吉里吉里学園
小学部 通信 No8
令和5年7月25日
文責 藤井

保護者の皆様におかれましては大変お忙しい中、期末面談に足をお運びいただき大変ありがとうございました。皆様の学校に対する温かいご支援やご協力のおかげで、子ども達は充実した1学期を過ごすことができました。

さて、本日1学期の終業式を終え、明日からは夏休みに入ります。夏休みは家庭や地域で過ごす時間がほとんどとなります。夏休みは自立の心を育てる最大のチャンスだと思っています。この夏休みを通して普段できない体験や、自分が立てた目標の達成に努力してほしいと願っています。



～終業式校長のあいさつ～全文

みなさん いよいよ明日から 待ちに待った夏休みですね。色々な行事や勉強があった1学期でしたが みなさんは目標をしっかり持ち 全力で取り組み そして自分自身の振り返りをしっかりやってきましたね。その成果をたくさん見ることができました。さて、みなさんは夏休みになりますが、おうちの方々は夏休みではありません。ですから 校長先生から一つ提案があります。

それは、～家族の一員として 自分にできることを探そう～です。

校長先生が初めて勤めた学校で、受け持った子ども達は4年生でした。そのときに、一人の子A君が夏休みの作文で書いてきたことが、いまでもずっと心に残っているのでお話しします。

A君は野球が好きで、とても元気な男の子でした。お母さんもA君の妹が保育園に入り、4月から働き始めました。お母さんはA君に「夏休みは手伝いを頑張ってもらいたい」と頼んでいました。A君はこれまで夏休みの仕事として、お母さんやお父さんから言われた、玄関はきをしていましたが その他に進んでお手伝いをしたことが無かったので、お母さんにどんなことをしたらいいか尋ねました。

でも、お母さんは「自分でできることを考えてごらん」と言いました。めんどろだなと思ったA君でしたが自分ができそうなことを考えてみました。

すると、4年生にもなると料理以外の大抵のことは意外とできることに気が付きました。それでA君は、朝仕事に出かける両親のために毎日できることとして、朝ごはんの後の食器洗いを始めました。

油で汚れている食器も洗剤で洗うときれいになって、とても気持ちがよくなり毎日頑張りました。

お母さんに毎日感謝され、お父さんにも褒めてもらって嬉しくなったA君は、新たに家族の洗濯物をたたむことも自分から進んで決めてやりました。

作文の最後には、あたり前に思っていた食器洗いや洗濯たたみをしてくれていたお母さんに感謝の言葉が書かれていました。

その後、A君は中学校からは野球部に入り、高校でも大好きな野球を続け、練習で疲れている日も、毎日泥だらけになった野球の練習着の洗濯を欠かさずやったそうです。

夏休みが近づくと毎年、A君の作文を思い出しながら懐かしい気持ちになります。

人のためにつくすことを「奉仕」といいます。そして、自分で決めて自分の力でやることを「自立」といいます。小学校の夏休みをきっかけに、みなさんも「自立の種」を心にまいて育ててみてはどうでしょう。

それでは 校長先生からのお話を終わります 元気なみんなに2学期会うことを楽しみにしています。

2023 吉里吉里海岸一斉清掃



(この活動はR4に緑綬褒章を受章しています)

今年も長年活動してきた、海岸清掃が7月9日(日)に行われました。当日は小中学生・地域の方々・釜石海上保安部の皆様の参加で総勢約300名での活動となりました。海岸もきれいになり、さらに今年はシャワーの施設も新設され、ますます海水浴が楽しみになりましたね。



8月の行事予定



2日(水)

小中児童会生徒会合同会議

4日(金)

6年生親子レク

11日(金)～16日(水)

学校閉庁

18日(金)

始業式 4時間授業

集団下校

22日(火)

陸上練習開始 4～6年生

24日(木)～26日(土)

校内夏休み作品展

26日(土)

校内水泳記録会 着衣水泳

2校時～(参観可能です)

1・2年生:記録会

3年生:記録会

4・5・6年生:着衣水泳

27日(日):吉里吉里祭り

28日(月):振替休日

29日(火):プール納め